

成分名	塩化亜鉛溶液
英 名	Zinc Chloride Solution
CAS No.	—
収載公定書	—

投与経路	用途
皮下注射	安定(化)剤

JECFA の評価

塩化亜鉛単独としての評価はない。元素としての亜鉛の栄養学的必要量と毒性量の間には大きな開きがある。硫酸亜鉛を1日量 600mg(亜鉛として 200mg に相当)までを1日 2,3 回に分割して数ヶ月間投与した臨床研究の結果に基づいて、亜鉛としてのヒトでの最大摂取耐用量を暫定値として 0.3-1.0mg/kg と設定している。¹⁾ (WHO Food Additives Series 17, 第 26 回会議、1982 年)

以下の項目については、酢酸亜鉛、酸化亜鉛及び硫酸亜鉛の項も参照されたい。なお、WHO の第 26 回会議の記録には、その他の亜鉛塩(医薬品添加物には指定されていない)についての記載もあるので併せて参照されたい。

以下の項目については、【塩化亜鉛】の項を参照

1. 単回投与毒性
2. 反復投与毒性
3. 遺伝毒性
4. 癌原性
5. 生殖発生毒性
6. 局所刺激性
7. その他の毒性
8. ヒトにおける知見

引用文献

1) Zinc (WHO Food Additives Series 17), The 26th meeting of the Joint FAO/WHO Expert Committee on Food Additives (JECFA), World Health Organization, Geneva 1982 (accessed; Oct. 2005, <http://www.inchem.org/documents/jecfa/jecmono/v17je33.htm>)